APIを使う前に

Web版の契約とAPIの支払いは別です。

準備するもの

シーン・画風提案と画像解析は選択中の文章モデルを使います。OpenAIの既定はGPT-6 Luna。画像はGPT Image 2.6 Sunburst / xhighまたはGemini Nano Banana 2.1を使います。

OpenAIまたはGoogleのアカウント、必要な場合の課金設定、利用するモデルの権限、対象プロバイダーのAPIキーを用意します。キーの取得や支払いは各社の公式サイトで行います。本アプリが支払いを受け付けるわけではありません。

> ChatGPT Plus / Pro等の契約はOpenAI API料金とは別です。プロモーション残高がある場合も、適用条件と残高はAPI側で確認します。GeminiもWebサービスの契約とAPIプロジェクトの利用条件を区別してください。

APIでは文章生成、画像解析、画像生成、再試行や講評などに利用料がかかる場合があります。無料枠の対象や利用上限はモデル・プロジェクトごとに異なります。このガイドは変動する価格表を固定せず、公式料金表へ案内します。

OpenAI：APIとChatGPTの請求の違い →

OpenAI：現在のAPI料金 →

Gemini：現在のAPI料金 →

OpenAI APIを準備する

アカウント・Project・課金・モデル権限を確認します。

1. OpenAI Platformへログインし、利用するOrganizationとProjectを確認します。チームの環境なら管理者が許可したProjectを選びます。

2. API側のBillingで支払い方法・残高・利用状況を確認します。クレジット購入や自動チャージは画面の条件を確認して自分で設定してください。予算の通知とAPI利用の停止条件は同じとは限りません。

3. API keysで通常のProject用キーを作り、安全に保管します。キーの権限を制限する場合は、アプリが使う文章・画像APIとモデルの利用権限を確認します。管理用キーをアプリ用に使う手順ではありません。

4. アプリでOpenAIを選び、キーをAPIキー欄へ入力します。チャット本文、公開文書、画像、README へキーを貼らないでください。

画像モデルが組織認証や追加の利用権限を求める場合は、公式Platformの案内を確認します。接続表示やモデル一覧の取得だけでは、画像生成権限まで確認したことにはなりません。

OpenAI Platform →

Project用APIキー →

API課金の確認 →

Gemini APIを準備する

Google AI Studioで対象プロジェクトとキーを確認します。

1. Google AI Studioへログインします。利用規約や地域・年齢・組織の利用条件を確認します。会社や学校のアカウントでは管理者の制限がある場合があります。

2. API keysとProjectsで使用するプロジェクトを確認します。既存のGoogle Cloudプロジェクトが表示されない場合は、公式のプロジェクト取り込み手順を確認します。

3. 対象のプロジェクトでキーを作ります。キーとプロジェクトは課金・利用枠に関係します。作成できない場合は権限を確認してください。キーの種類や制限は公式の最新案内に従います。

4. 有料モデルや必要な利用枠に応じてSet up billingから課金条件を確認します。画面に表示される支払い・前払い条件に従い、キー取得だけで全モデルが無料になるとは考えないでください。

5. アプリでGeminiを選び、キーを専用欄へ入力します。選んだプロバイダーとキーが対応しているか確認します。

Google AI Studio：キー管理 →

Gemini公式：キーとプロジェクト →

Gemini公式：課金設定 →

接続・保存・エラーの確認

秘密情報を含めず、表示された理由から切り分けます。

キーは現在のアプリ画面内のメモリだけで扱います。再読み込みや終了後は再入力が必要です。必要な文章や画像を保存してから再読み込みやAPI切替を行ってください。保存画像にキーを入れる操作は不要です。

表示・症状	まず確認する項目
401 / 認証エラー	キーの全文、余分な空白、プロバイダー、無効化や有効期限
403 / 権限・認証要求	Project・モデル権限、組織の条件、公式の認証案内
429 / 上限・制限	利用枠、残高、レート制限、再試行までの待ち時間
モデルが使えない	実際のエラー、選択モデル、アカウントの利用可能モデル
文章成功・画像失敗	文章と画像の利用権限・モデル・残高を別々に確認

HTTP成功や接続完了だけで、文章・人物・台詞・画像品質が合格したとは判断しません。実際の出力を確認します。エラー共有時はキー、支払い情報、個人情報を除いてください。

通常料金とBatch等の割引料金は区別します。このアプリの通常操作をBatch料金で見積もらないでください。自動の再試行や講評・修正がある工程は追加利用が発生する場合があります。

OpenAI利用状況 →

Geminiレート制限 →

AI通信を強制切断する

思考待ち・応答受信中の通信と後続処理を止めます。

手動操作では、上段右の「AI通信を強制切断」を処理中に使えます。MCP接続中は、右端の「停止して手動に戻る」で処理の停止と接続の解除を行います。上段左のMCP導入ガイドから初回の接続手順を確認できます。

モデル説明・料金は選択欄の下で折り返します。長い説明が出てもヘッダーを横へ押し広げません。処理画面や作業中の設定画面でも、実行中の緊急停止へ届きます。

中断すると実行中の通信、後続のモデル切替・自動修正を止め、遅れて届く結果は採用しません。入力、接続済みのキー、採用済みの結果は保持します。

再実行は通常の生成・AI提案ボタンから始めます。前の処理の遅延結果は新しい実行へ混ぜません。

> 中断前に発生したAPI利用料金の返金を保証するものではありません。